

ホットインナージャケット：1万9800円(税抜)

最新モデルはごく普通のジャケット風デザインになったので、このまま店内などに入っても違和感がない。しかもそのときは単なるジャケットになるので暑くて汗かいたり……というのがないのもメリット!

寒い冬でも、どこまでも走り続けたいくなるウエア

KLAN HEATING WEAR & GLOVE

問◎ジャペックス・ドット・ネット ☎03-3773-7633

www.japex.net

photo and text by Katsuhisa Mikami

ホットインナーパンツ：1万5800円(税抜)

柔らかく伸縮性に優れた薄手のネオブレン素材を前部に採用した電熱入りパンツ。つっぱり感がなく、はきやすく動きやすい。高速道路を走っているときの幸せ感ったら!

ホットインナージャケットの袖口には、手のひらまでインナーが伸びるようにしている。風が進入しにくい設計。袖口、襟にはアウターと接続するためのバックルも

裏地の銀色の部分が電熱線が入っている部分。最新モデルは背中部分が伸縮しやすい素材で出来ているため、体にぴったりフィットしやすく、それも暖かさを保つ仕組みになっている

ツーリンググローブ：1万4500円(税抜)

指先と手の甲まで電熱線が入ったヒーテッドグローブ。寒くないのにうっかりスイッチを入れると手に汗かくほど。泣きたくなくなるほど寒い思いをしているライダーはまずはこれから! コストパフォーマンス抜群!

あまり寒く感じないときはそのままウインターグローブとして使用できるツーリンググローブ。スイッチオンにすれば、指先が寒くて痛い! なんてことは皆無

体の動きを妨げない、
電熱線入りジャケット

次ページからのヨーロッパツーリングは最低気温9℃とかなり寒いところもあったのだが、僕が来ていたのはTシャツとマウンテンパーカのみ。え? と思うでしょ。なんでそれだけで大丈夫だったかと言うと、それはこのクラン・ヒーティングウエアの上下を着ていたからなのだ。

もとは屋外で作業する人たちのために始まったのがこの電熱ウエア。バイクのバッテリー端子、もしくはパワーアウトレットに付属のコードを接続すれば準備OK。インパーター付きのスイッチをオンにすれば、服の内側に仕込まれた電熱シートが発熱、体を温めるといわけ。

ウインターウエアと違って生地が薄いので体も動かしやすく、なにより窮屈感がないのがいい。厚く感じたらスイッチを切ればいいだけで、温度調節も自由自在だ。

今回は合わせて電熱グローブまで使ったのでまさに無敵! 熱すぎず、寒すぎず、そしてバイクを降りて店に入っても汗をかくことなく旅を楽しめた。ウインターウエアを探している人、お薦めですよ!